

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 11 - 1

<b>事業分類</b>		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		<b>公的関与</b> 3		<b>作成日</b> 27年 4月 28日		
<b>事務事業名</b>		交通安全啓発事業				<b>シート作成部署</b>		
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>基本施策</b>	1 安全・安心なまち				<b>課名</b>	建設課	
		1-1 安全・安心のまちをつくる					<b>係名</b>	土木係
	<b>施策</b>	1-1-2 交通安全・防犯対策の充実				<b>予算費目</b>		シート作成者
		① 交通安全意識の高揚					<b>会計</b>	一般
<b>個別計画名</b>							<b>款</b>	2
							<b>項</b>	1
						<b>目</b>	11	
<b>住民との関わり</b>		施策・事業の企画段階からの住民参与						
<b>事業の対象・目的・内容</b>	<b>対象（誰を、何を）</b>		<b>目的（どういう状態にしたいのか）</b>					
	住民（歩行者、ドライバー）		交通安全意識を高揚し、交通事故を防止する。					
<b>事業内容（どのような方法で、何を行うのか）</b>		町交通安全推進協議会による街頭指導、広報活動を行い、交通安全啓発活動を実施する。						
<b>事業期間</b>		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
<b>根拠法令・要綱等</b>								
		<b>平成25年度（決算）</b>		<b>平成26年度（決算）</b>		<b>平成27年度（予算）</b>		
<b>全体事業費（千円）A+B</b>		3,023		3,033		3,047		
<b>財源内訳</b>	<b>国庫支出金</b>	0		0		0		
	<b>県支出金</b>	0		0		0		
	<b>地方債</b>	0		0		0		
	<b>その他特定財源</b>	0		0		0		
<b>一般財源</b>		977		987		1,001		
<b>直接事業費（千円）A</b>		977		987		1,001		
<b>人件費（千円）B</b>		2,046		2,046		2,046		
<b>内訳</b>	<b>一般職員（人・千円）</b>	0.31 人	2,046	0.31 人	2,046	0.31 人	2,046	
	<b>臨時職員（人・千円）</b>	人	0	人	0	人	0	
<b>成果指標</b>	<b>成果指標名</b>		<b>単位</b>	<b>26年度</b>		<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	
				<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>（目標）</b>	<b>（目標）</b>	
	①	町内交通事故（人身、物損）件数	件	↓	716	↓		
	②	◆町の交通安全対策についての満足度	%					
③								
<b>説明</b>	前年度の交通事故件数を基に成果指標（目標）を設定した。 ◆は平成27年度にアンケートを予定しています。							

事務事業評価シート1-2

事務事業No. 11 - 1

事業名		交通安全啓発事業		シート作成課		建設課		
一次評価者		建設課長		二次評価者		建設部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通安全啓発事業は住民の生命を守るという面から、公共性が強く、地方自治体の役目として必要です。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	年4回の交通安全運動などで繰り返し、啓発活動を行うことで住民の交通安全意識向上を図ることができます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通事故は様々な要因があり、啓発活動だけでは事故件数を減らすことは難しい状況です。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	効率性を求める事業ではないが、関係機関と協力が重要です。	
<b>本事務事業の実施適切性の説明</b>								
交通事故が多発する中で、交通安全啓発活動を実施することは、交通ルールやモラルを高める為には、有効な手段であり地道ではあるが、継続することにより個々の交通安全意識向上を図れるものであります。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	3	(8) B 8 (7) 5 (6) D C (2) (5)(6) (8)		
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		
今後の改革・改善目標	いなべ警察、いなべ地区安協、いなべ市等関係機関ともタイアップし、啓発活動を行います。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	3	(8) B 8 (7) 5 (6) D C (2) (5)(6) (8)		
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		
コメント	交通事故防止への啓蒙・啓発活動が重要と考えます。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				